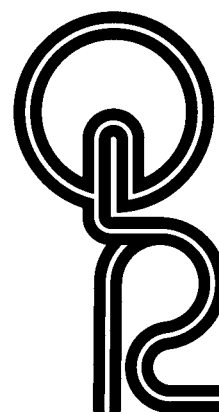


QR Newsletter



第四紀通信

Vol. 33 No.1, 2026



東京都江東区の小名木川に設けられた扇橋閘門。手前と奥のふたつの水門で最大 3 m の水位差を調整し、船を通行させる。かつて地下水の汲み上げにより地盤沈下が進み、内水面を海面よりも低く保つ必要が生じて建設された。竣工は 1977 年（文・写真：小松原純子）

Vol. 33 No. 1

February 1, 2026

学会賞・学術賞受賞記念講演会案内 ..	学会賞・論文賞等推薦のお願い..... 4
..... 2	評議員会案内..... 5
2026 年大会案内（第 2 報）..... 2	執行部会議事録..... 5
JpGU2026 案内（第 2 報）..... 3	会員消息..... 8

◆ 2025 年日本第四紀学会 学会賞・学術賞受賞記念講演会のお知らせ

日 時：2026 年 2 月 14 日(土) 9:00～12:00

開催形式：Zoom によるオンライン講演会、無料。非会員の方でも参加出来ます。

申込方法：以下のリンクにある申し込みフォームから、2 月 13 日(金)までに事前登録してください。

登録後、Zoom からミーティング参加に関する情報の確認メール(送信元:Zoom、件名: 2025 年日本第四紀学会 学会賞・学術賞 受賞記念講演会確認)が届きますので、その情報を各自で保存して利用してください。

ミーティング事前登録：<https://us06web.zoom.us/meeting/register/gNvAVImyRHqIBX0pWgNd2Q>



プログラム：

- 9:00～9:05 開会挨拶(北村会長)
- 9:05～9:55 学術賞受賞講演 植村 立 会員
「鍾乳石と氷床コアの水同位体で探る古気候変動」
- 10:00～10:50 学術賞受賞講演 荻谷愛彦 会員
「日本アルプスの第四紀地形学・地質学―課題と展望」
- 11:00～11:50 学術賞受賞講演 里口保文 会員
「日本列島の鮮新―更新統の広域層序を組み立てる」
- 11:50～11:55 2025 年大会(島根大)若手・学生発表賞の紹介
- 11:55～12:00 閉会挨拶(副会長)

◆ 日本第四紀学会 2026 年大会(創立 70 周年大会) 案内(第 2 報)

日本第四紀学会 2026 年大会(創立 70 周年大会)は以下の日程で開催予定です。シンポジウム講演(口頭発表)と一般研究発表(ポスター)で構成します。併せて学会創立 70 周年祝賀会を開催します。なお、今後の社会状況によっては、一部変更・中止になることがあります。

日程：2026 年 8 月 20 日(木)～8 月 22 日(土)

8 月 20 日(木) シンポジウム(領域 1、領域 2) および一般発表(ポスター)

8 月 21 日(金) シンポジウム(領域 3) および一般発表(ポスター)、総会、記念式典・会長講演、学会創立 70 周年記念祝賀会

8 月 22 日(土) シンポジウム(領域 4、領域 5) および一般発表(ポスター)

会場

シンポジウム、一般発表、総会、記念式典・会長講演：国立研究開発法人産業技術総合研究所つくばセンター共用講堂(茨城県つくば市東 1-1-1)

学会創立 70 周年記念祝賀会：ホテル日航つくば(TX つくば駅から徒歩 2 分)

開催方法：対面方式(一部ハイブリッド形式)を基本とします。

大会実行委員長：藤原 治(産総研)

委員：吾妻 崇(産総研)・納谷友規(産総研)ほか

学会設立 70 周年記念事業委員会(特別委員会)委員長：鈴木毅彦(東京都立大)

委員：池原 実(高知大)・須貝俊彦(東京大)・山田和芳(早稲田大)ほか

◆日本地球惑星科学連合 2026 年大会 (JpGU-AGU 2026) のお知らせ (第2報)

日本地球惑星科学連合 2026 年大会は、AGU との Joint Meeting (JpGU-AGU Joint Meeting 2026) として、2026 年 5 月 24 日 (日) ～ 5 月 29 日 (金) の 6 日間の日程で、現地 (幕張メッセ) とオンラインによるハイブリッド形式にて開催されます。

例年通り、大会参加予定のすべての皆様に対して、大会参加プラットフォーム「Confit」が準備されます。「Confit」にログインすることで、各種情報が掲示されるとともに、タイムテーブル上の Zoom リンクから各セッションに簡単にオンライン参加することができます。

日本第四紀学会の関わる学協会セッション

H-QR05「第四紀：ヒトと環境系の時系列ダイナミクス」

口頭発表：5 月 24 日 (日) AM2-PM2、ポスター発表コアタイム：5 月 24 日 (日) PM3

S-SS10「活断層と古地震」

口頭発表：5 月 29 日 (金) AM1-PM2、ポスター発表コアタイム：5 月 29 日 (金) PM3

U-11「第四紀および人新世の気候変動」

口頭発表：5 月 26 日 (火) AM1-AM2、ポスター発表コアタイム：5 月 26 日 (火) PM3

A-HW36「流域圏における物質輸送・生物多様性・環境変動」

口頭発表：5 月 28 日 (木) AM1-PM2、ポスター発表コアタイム：5 月 28 日 (木) PM3

※ それぞれの時間帯は以下のとおりです。

AM1：9:00-10:30、AM2：10:45-12:15、PM1：13:45-15:15、PM2：15:30-17:00、PM3：17:15-19:00

※ポスター発表のショートトークはありません。

発表の概要

口頭発表：現地あるいはオンラインから Zoom 経由で発表

ポスター発表：オンライン掲示が必須、現地での発表は任意

今後の主な日程

投稿受付締切：2 月 17 日 (火) 17:00 (早期締切：2 月 5 日 (木) 23:59)

学生優秀発表賞エントリー受付締切：2 月 19 日 (木) 23:59

プログラム公開：3 月 27 日 (金)

発表者参加登録締切：4 月 16 日 (木)

投稿料

早期投稿料 ¥6,600 (税込) / 1 件、通常投稿料 ¥8,800 (税込) / 1 件

※ 投稿料の早期割引は、早期締切までに決済を完了された場合のみ適用されます。

※ 早期投稿の場合も、投稿内容の変更・修正は最終締切まで可能です。

※ 最終投稿締切後は、一切の変更・修正が出来ません。

参加登録料

大会参加登録料は、現地参加・オンライン参加の区別なく全日程のみの料金となります (1 日券はありません)。

一般

会員割引料金：¥31,020 (税込) / 正規料金：¥44,220 (税込)

大学院生・シニア (JpGU 正会員のみ)

会員割引料金：¥14,300 (税込) / 正規料金：¥21,120 (税込)

※小中高教員の正会員は当面の間は無料 (非会員の正規料金：¥21,120 (税込))

※学部生以下の方の参加費は全日無料ですが、参加登録後に専用フォームより学生証のスクリーンデータを 5 月 18 日 (月) までに送る必要があります。

詳細および最新情報は、JpGU-AGU2026 ホームページ (https://www.jpгу.org/meeting_j2026/) をご確認ください。

◆ 2026 年日本第四紀学会学会賞・論文賞等の推薦のお願い

日本第四紀学会会則の第3条(3)に基づき、2026年日本第四紀学会学会賞(以下、学会賞)、日本第四紀学会学術賞(以下、学術賞)、日本第四紀学会若手学術賞(以下、若手学術賞)並びに日本第四紀学会論文賞(以下、論文賞)、日本第四紀学会奨励賞(以下、奨励賞)の受賞候補者の推薦募集を行います。前3賞は学会賞選考委員会が会員からの推薦をもとに受賞候補者を選考し、後2賞は論文賞選考委員会が会員からの推薦を参考に受賞候補者を選考します。最終的に2026年6月頃に開催される評議員会で受賞者が決定され、2026年大会で表彰される予定です。会員のみなさまからの多数のご推薦をお待ちしております。

推薦にあたっては、学会ウェブサイトの「会則・規程」のページ(<https://quaternary.jp/about/rules/>)に掲載されている「日本第四紀学会顕彰規程」および関連する内規をご参照の上、下記に従って推薦書類をお送り下さい。また、過去に受賞した会員は、論文賞を除き同じ賞を受賞することはできませんので、学会ウェブサイトの「名誉会員・各賞受賞者」のページ(<https://quaternary.jp/about/honorary/>)で歴代受賞者を事前にご確認頂きますようお願い致します。

1. 各賞の概要と推薦書類の記入内容

■学会賞・学術賞

学会賞と学術賞は、第四紀学の発展に寄与する研究や学会活動への貢献を行ってきた会員に贈られる賞です。

学会賞：第四紀学の発展に貢献した顕著な業績や活動および学会活動に貢献した正会員に授与。学会における最高の賞。毎年若干名。

学術賞：第四紀学の発展に貢献した優れた学術業績をあげた正会員に授与。優れた編書、著書、論文などの一連の業績が対象。対象成果が複数の著書(研究グループ等を含む)によりなされた場合には、筆頭著者または代表者に授与。毎年若干名。

下記の情報を記した推薦書類を作成して、主要業績リストと併せて日本第四紀学会事務局へ送付して下さい。

- (1) 推薦者の氏名・所属・連絡先(自薦を含む)
- (2) 賞の名称
- (3) 候補者の氏名・所属・連絡先
- (4) 学会賞の場合には、具体的な業績や活動内容を示した受賞件名
学術賞の場合には、授賞の対象となる一連の業績を含めた受賞件名
- (5) 推薦理由(1,000字以内)

■若手学術賞

若手学術賞は国際誌等における研究発表を通して第四紀学に貢献した優れた学術業績をあげた若手会員(2026年4月1日時点で39歳以下の会員)に授与されるものです。受賞者数は若干名で、受賞対象は過去2年間の国際誌等に掲載された論文(オンライン化された論文を含む)の筆頭著者となります。受賞者には副賞として5万円の奨学金が授与されます。

下記の情報を記した推薦書類を作成し、推薦する論文のPDFとともに学会事務局へ送付して下さい。

- (1) 推薦者の氏名・所属・連絡先(自薦を含む)
- (2) 賞の名称
- (3) 候補者の氏名・所属・連絡先
- (4) 推薦論文題目、論文が掲載された雑誌名および出版年月・巻・号・頁、またはオンラインの公開日及びDOI
- (5) 推薦理由(800字以内)

■論文賞・奨励賞

論文賞と奨励賞は、過去2年間に刊行された「第四紀研究」(第63巻第1号～第64巻第4号)に掲載された論文と著者が対象となります。ただし、編集委員会が非会員や学会賞・学術賞受賞者へ依頼した論文は対象外となります。

論文賞：会員である論文著者全員に授与。毎年1～2件程度。対象は掲載された全ての論文(短報を含む)。

奨励賞：会員である筆頭著者に授与。年齢は2026年4月1日時点で35歳以下。毎年1～2件程度。

受賞者には副賞として5万円の奨学金が授与されます。

推薦書類には下記の情報を記し、学会事務局へ送付して下さい。

- (1) 推薦者の氏名・所属・連絡先(自薦を含む)
- (2) 賞の名称
- (3) 論文賞の場合には、全著者名と推薦論文名
- (4) 奨励賞の場合には、候補者名と推薦論文名
- (5) 推薦理由(1,000字以内)

2. 推薦書類の送付先

各賞の推薦書類は、郵送または電子メールで日本第四紀学会事務局へ送付して下さい。送付先の住所ならびに送信先のメールアドレスは下記のとおりです。

郵送：〒169-0072 東京都新宿区大久保2丁目4番地12号 新宿ラムダックスビル

メールアドレス：daiyonki(at)shunkosha.com “(at)”の部分を“@”に変えて下さい

郵送の場合の宛名は、学会賞・学術賞・若手学術賞の推薦書類については、「日本第四紀学会 学会賞選考委員会」宛、論文賞・奨励賞の推薦書類については「日本第四紀学会 論文賞選考委員会」宛として下さい。

電子メールの場合には、上記のそれぞれの宛先名を電子メールの件名に入力して送信して下さい。なお、PDF等のファイルを電子メールで送る場合、その容量が大きい場合(10MB以上)には、ファイル転送サービスを利用して下さい。

3. 提出期限

推薦書類の提出期限は、いずれも2026年2月27日(金)(必着)です。

◆ 2025年度第3回評議員会の案内

以下の内容で、第3回評議員会が開催されます。

日時：2026年2月13日(金) 13:00～16:00

方法：Zoomを用いたオンライン会議

議事内容(予定)：70周年記念事業の進捗状況、2025年度事業中間報告・会計中間報告ほか

評議員会メンバーの方には、後日メーリングリストにて詳細内容をご連絡いたします。なお、会長経験者・名誉会員の方には、今回は個別の案内を差し上げませんので、評議員会に参加される方は、2026年2月11日(水)までに下記庶務委員会まで電子メールにてご連絡をお願いします。

メールアドレス：shomu(at)quaternary.jp [(at)の部分を@に変えて送ってください。]

◆ 日本第四紀学会 2025年度第4回執行部会議事録

日 時：2025年12月25日(木) 13:00～16:35

方 法：Zoomシステムを用いたオンライン形式

出席者：北村晃寿(会長)、横山祐典(副会長)、
藤原 治(副会長)、齋藤めぐみ(庶務委員
員長)、納谷友規(会計委員長)、石原与
四郎(編集委員長)、目代邦康(広報委員
長)、池原 実(行事委員長)、加 三千

宣(領域1)、奥野 充(領域2)、長橋
良隆(領域3)、中塚 武(領域4)、三
田村宗樹(領域5)

欠席者：白井正明(渉外委員長)

オブザーバー参加：鈴木毅彦(70周年記念事業委
員会)、齋藤咲良(事務局)

主な報告事項

- (1) 11月18日に開催された公益社団法人日本地球惑星科学連合・第33回学協会長会議における2026年大会(JpGU-AGU2026)の方針が以下のように報告された。1) 全てのセッションをAGUとのジョイント扱いとする。2) 国際交流の促進を目的に英語を主要言語とする。3) Jセッションにも海外参加者が見込まれるため、スライド・ポスターなどの文字情報は日本語とともに英語表記を必須とする。4) ポスター発表は、オンライン掲示を必須とし、オンライン掲示物は現地掲示物と同一でよく、現地ポスターコアタイムは19:00終了とする。
- (2) 2件の転載許可申請(説話社、原子力発電環境整備機構の追加分)があり、その内容を確認して許可書を発行した。
- (3) 社会地質学会シンポジウムを共催することとし許可書を発行した。
- (4) 日本第四紀学会2025年度名誉会員候補者選考資料および功労賞選考資料を作成し、名誉会員候補者選考委員会に送付した。
- (5) 名誉会員候補者選考委員に対し委嘱状を発行した。
- (6) 第3回評議員会を2月13日(金)13:00~16:00に開催することとした。
- (7) 次の支出について承認した。領域活動費:地球環境史学会の公開セッションのアルバイト代5万円(領域4)。編集人件費:岩本さんの10・11月分の編集作業代。学会ウェブサイト運営費:奥村さんの9~11月分のウェブサイト更新作業代。
- (8) 11・12月分の春恒社からの請求書を確認した。
- (9) 第四紀研究第64巻第4号(論説1編)を発刊、第65巻第1号(論説2編、書評1編)を校正中。
- (10) 12月10日現在、通常号の受理済み原稿(書評を除く)は3編、受理前手持ち原稿は論説4編、総説1編、短報3編、特集号は受理前9編、受理済み6編となっている。
- (11) 2025年11月19日、12月9日に、第5、6回編集委員会(メール)を開催し、受理および不採択に関する審議を行った。
- (12) 2025年日本第四紀学会学会賞・学術賞受賞記念講演会について、プログラムを確定し、学会メーリングリストで周知済み。オンライン委員会にてZoom会議もセットアップし、参加登録受付中。学会ウェブサイトへのプログラムの公開は速やかに行う。
- (13) 会員メーリングリストを通じて広報、情報提供等を行った(#1902-1920)。INQUA等からの連絡も会員MLに流すこととした。
- (14) 日本第四紀学会ウェブサイトの改訂作業を進

めている。

- (15) 大会要旨集をウェブサイトで公開する準備を行っている。容量が大きいので、契約しているサーバーの容量を確認してからアップロードする。
- (16) JpGU関係:日本第四紀学会の学協会セッションとして、第四紀:ヒトと環境系の時系列ダイナミクス、活断層と古地震、第四紀および人新世の気候変動、流域圏における物質輸送・生物多様性・環境変動の4セッションを指定した。第四紀セッションで各領域から口頭発表を1件ずつ選定することとした。領域2は大阪公立大学の三浦大助会員、領域4は出穂雅実会員に決定した。
- (17) 12月23日に領域4のオンライン会議を開催し、11月30日に名古屋大学で開催された地球環境史学会との共催によるトピックセッション「第四紀の気候・環境の変動と人類の展開」について、報告があった(オンライン参加登録52名、うち日本第四紀学会から33名。当日は、対面での参加も可とした。オンライン参加は、約30名で、対面参加は、50名以上であった。アルバイト代として、領域4の活動費から、5名×1万円で、5万円を支出した)。審議事項として、JpGUセッションの領域4からの講演者(出穂雅実会員)を選任し、8月の70周年記念大会の領域4のセッションの講演者の決定方法を検討・確認した。
- (18) 領域5において学会リーフレットの取りまとめを進めている。

審議事項

- (1) 第3回執行部会において、執行部会規程第8条に、メールでの審議を執行部会とすることを明記することが確認された。それに従い、第8条の条文を変更し、第10条の電磁的な方法による審議を削除することが提案された。その原案を第3回評議員会に諮ることが承認された。
- (2) 会員家族から事務局宛に退会したいとの連絡があり、ご高齢であり未納会費を納めることが難しいという事情に配慮し、未納会費を請求せずに退会を認めることとした。
- (3) 2026年創立70周年記念大会での大会開催支援システムの導入について議論し、有料の学会開催支援サービスを利用することが承認された。第3回評議員会に諮ることとした。
- (4) Clarivate社からのPDFパスワードロック解除の依頼に対し、一企業に対しPWは知らせないこととした。
- (5) 第四紀研究のPDFセキュリティレベルの問題点が指摘され、PDFを作成している印刷業者とも相談の上、編集委員会案を作成し、次回執行部会にて継続審議することとした。

(6) 投稿規定について編集委員会により、英国式か米国式のどちらかに統一されるべきではないかという提案があり、次回執行部会に具体例を示した上で再度審議し投稿規定の変更が必要かどうかを検討することとした。

(7) 会誌発行部数を会員数に合わせて減らすことが提案された。会誌：1100部（850～880部は会員用、150部は丸善様にて販売用、残部は事務局保管）から1000部（会員用895部、丸善様用85部、事務局保管分20部）に。会報：1000部（会員用および事務局保管分）から910部に。いつから変更できるかを印刷業者に問い合わせるとともに、この変更案を評議員会に諮ることとした。

(8) 会務の速やかな運営のため、70周年記念事業委員に横山副会長を追加することとした。

(9) 第3回評議員会（2026年2月13日）の議題を整理した。報告事項：2025年度事業中間報告、2025年度会計中間報告、学会設立70周年記念事業について、その他。審議事項：大会支援オンラインシステムの導入について、執行部会規程一部改正の提案、その他。

70周年記念事業委員会関連

審議事項と報告事項

(1) 2026年創立70周年大会「（仮題）人類の環境を第四紀学から考えるー過去から見た現在と未来」を2026年8月20日（木）～22日（土）に茨城県つくば市の国立研究開発法人産業技術総合研究所（産総研）で開催する。各領域シンポジウムを3時間に統一したスケジュール案が承認された。

(2) 創立70周年記念パーティー会場費の一部を学会予算から支払うことが審議され、具体的な金額が未確定であるため、40万円までの支払いを承認することとした。それを超える場合は、再度執行部会にて検討することとした。

(3) 領域代表にシンポジウム登壇者（内外を含む）を選定依頼中。1月末頃までに決定予定。登壇者の人数、発表時間等は領域ごとに設定すること、登壇者は非会員や海外からの招待が可能であること、ほかの領域から選定しても良いことを確認した。テーマ、登壇者等について、ほかの領域との調整が必要であり、横山副会長が情報を共有する仕組みを用意し、領域代表の間で連絡を取り合って進めることとした。招聘のための旅費を学会から支払うことも執行部会で検討することとした。

(4) 第四紀通信2月号で概要を伝え、5月号にはシンポジウムの内容や登壇者の詳細を掲載するこ

とを確認した。

(5) 記念式典には、名誉会員、歴代会長などを招待する。その旅費は学会から支払うこととし、2026年度予算に計上することとした。

(6) 70周年記念事業の一環として、産総研の地質標本館にて、特別展を産総研・日本第四紀学会共同主催で開催することとした。展示内容は、各領域に協力を依頼することとした。

(7) 特別展の開催期間中に特別講演会（市民講演会）を開催、日本第四紀学会から講演者を選ぶことに合意し、学会としては通常大会の普及講演会扱いとすることとした。

(8) 特別展に際し、ブックレットを印刷配布することを検討し、日本第四紀学会としてブックレットを印刷することを希望し、費用は半額支払うこととした。

(9) 全国科学博物館協会の巡回展に登録し、全国の希望する博物館で再利用可能なものとするのを承認した。

(10) 「第四紀露頭集ー日本のテフラ」のPDF化・公開事業の進捗状況について、書籍のPDF化などを扱っている会社によれば金額的にはかなり安価で、OCRやカラー対応でき、団体向けの請求書発行などの追加代金を含めても数千円以内で完了可能。納期は最長で一ヶ月程度。2025年度予算の範囲内でも実施できる可能性があることが報告された。

(11) 記念出版『図説 日本列島の歴史』に関して、12月3日にオンラインで編集会議が開かれ、編集の現状と出版スケジュールについて確認された。再校依頼は2月を予定。当初の予定通り「初版1200部程度・価格は「5000円＋税」を超えない」を軸に検討中。刊行時期は2026年4月下旬～5月刊行の予定で、JpGUやつくば大会で販売を希望。次回編集会議は、2月の評議員会に合わせて開催予定。

(12) 日本第四紀学会リーフレットの作成と70周年記念事業について、広報委員会にて8月の大会に間に合うように進めている。近日中に、作成スケジュールを執行部会に連絡する。

その他

・池原行事委員長より、10th International Conference on Asian Marine Geology (ICAMG-10、2026年10月30日～11月7日、釜山) について情報共有がなされた。

★★★ 情報をお寄せください ★★★

日本第四紀学会では、第四紀通信のほか、メーリングリスト（ML）、学会ウェブサイトを用いて情報発信をしております。メール本文に配信内容のタイトルと簡単な情報を書いて広報委員会アドレス（jaqua-koho@quaternary.jp）へご投稿ください。

情報発信の手段として、MLの積極的な使用をお願いします。MLへのご投稿についての詳細は、第四紀通信第29巻第4号の巻末をご覧ください。当該号はウェブサイト（<http://quaternary.jp/old/report/QRNL2904.pdf>）でも閲覧可能です。

第四紀通信には主催・後援イベントなど学会として会員に広く周知する必要があると認められる情報を、ウェブサイトには主催・後援イベントなどのほか「公募・助成」情報等を掲載します。

広報委員会

日本第四紀学会事務局

〒169-0072 東京都新宿区大久保2丁目4番地12号 新宿ラムダックスビル
株式会社春恒社 学会事業部内

E-mail: daiyonki@shunkosha.com

電話: 03-5291-6231

FAX: 03-5291-2176